■沿革

年度			話題
平成2	1990	4月	(社)日本産業機械工業会から分離独立、任意団体として日本建設機械工業会(建機工)を設立
		5月	設立総会で(社)日本建設機械工業会の設立を決議
			初代会長に片田哲也氏(小松製作所)
		6月	通商産業省(現・経済産業省)より(社)日本建設機械工業会の設立認可
		11月	ロゴを設定
		12月	第1回会員懇親会を神戸製鋼所などで開催(以後毎年開催)
平成3	1991	2月	ECのアンチ・ダンピング関税撤廃
		3月	定款を改定
			「独禁法マニュアル」を作成
			機関誌「CEMA MONTHLY」を創刊
		5月	CECE、CIMA、EMIと「世界統計交換覚書」に調印
		10月	「見積書・注文書の手引き」を作成
平成4	1992	3月	「建機工の活動と独禁法」を作成
			出荷金額統計を作成
			需要予測を作成
		5月	第6回世界統計交換会議を東京で開催
			パラダイム「建設機械工業会の発展に向けて」を作成
平成5	1993	5月	製造物責任制度専門委員会を設置
		6月	雇用調整助成金の業種指定を受ける
平成6	1994	8月	定期会長記者会見を開始
		9月	建設機械中古車交流会を設立
平成7	1995	1月	阪神・淡路大震災発生、災害復旧支援窓口を設置
		5月	業界イメージアップ事業展開
		6月	「安全マニュアル」を作成
		7月	製造物責任(PL)保険制度を創設
平成8	1996	1月	海外向け広報誌「CEMA NEWS DIGEST」を創刊
		3月	賛助会員の募集開始
		4月	国際技術交流会議を横浜で開催
		8月	KOCEMAとの日韓実務者会議を開催
平成9	1997	5月	委員会などの機構を改革
			「リサイクル促進のための製品設計段階における事前評価のガイドライン」を策定
		8月	ホームページ「CEMA WORLD」を開設
		9月	建機工統一安全標識を制定
平成10	1998	3月	「建設機械の補修用部品供給の円滑化・効率化に関するガイドライン」を作成
		10月	中小企業信用保険の業種指定を受ける
		11月	「地球環境保全のための自主行動計画」を策定
平成11	1999	3月	「キャリア安全対策ガイドライン」を策定
			CECE、CIMA、EMI、KOCEMAと世界統計協定に調印
		6月	移動式クレーン定期自主検査者制度を創設
平成12	2000	3月	「わが国建設機械産業の2000年ビジョン」をまとめる
		5月	建機工設立10周年
		6月	「ラチス式ブームを持ったクローラクレーンの安全装置にかかわる統一用語マニュアル」を策定
			「テレスコピック式ブームを持ったホイールクレーン及びトラッククレーンの過負荷防止装置及び
			それに付随する安全装置にかかわる統一用語マニュアル」を策定
		9月	「クローラ式タワークレーン(ラフイングタワー仕様)における安全装置統一のためのガイドライン」を策定
			CCMAとの交流スタート
		10月	ホームページに中古車建機情報ネットを開設
平成13	2001	7月	「クローラクレーン・タワー使用安全テキスト」を策定
			「使用済み建設機械のリサイクル推進行動計画」を策定
平成14	2002	3月	「ドリル本体に係わる統一用語マニュアル」を策定
		4月	ホームページを改訂し、会員専用ページを設置
			これに伴い「CEMA MONTHLY」を終刊
		9月	「コンクリートポンプの設計・製造に関するガイドライン」を策定
		11月	「コンクリートポンプ車整備証明制度」を創設

年度			話題
平成15	2003	3月	「不当表示状況にある建値の是正に関する指針」を制定
			「建設機械の盗難防止装置に関するガイドライン」を制定
		9月	「公正取引センターに関する規約」を制定
		11月	「適正表示等に関するガイドライン」を制定
		12月	公正取引センターを設置
平成16	2004	6月	定款を改訂
平成17	2005	5月	建機工設立15周年
平成18	2006	3月	「リサイクル管理センターに関する規約」を制定
			「我が国建設機械産業の将来展望調査研究報告書（2005ビジョン）」をまとめる
			IECIAL（現ICEMA）との交流スタート
			「建設機械の解体マニュアル」を策定
		10月	オフロード法の規制開始
平成19	2007	7月	第1回IAC（世界建設機械産業団体会議）を鎌倉で開催
		11月	リサイクル管理センターを設置
平成20	2008	3月	「地球環境保全のための自主行動計画」を改訂
			削減目標値 10%→15%へ
			「カウンタウェイトのリサイクル促進のためのマニュアル」を策定
		11月	リサイクル管理センターによる廃ゴムクローラ類のリサイクル、全国展開開始
			緊急保証制度の特定業種指定を受ける
平成21	2009	10月	新法人化検討特別委員会を設置
平成22	2010	5月	建機工設立20周年・20年史発行
			パラダイム「建設機械工業会の発展に向けて」を改訂
平成23	2011	3月	東日本大震災発生、震災相談窓口を設置
		9月	内閣府より一般社団法人の移行認可
			定款を改訂
			福島原子力発電所事故に伴う「サービス活動の手引き」を策定
平成24	2012	3月	コンプライアンス体制整備
		10月	定款を改訂
		11月	「工業会のあり方ビジョン」を策定
平成25	2013	5月	定款を改訂
		12月	「建設業界の独禁法Q&A集」を作成
平成26	2014	4月	調査部を開設
		5月	建設機械製造業界の「低炭素社会実行計画（2020年目標）」を策定
平成27	2015	3月	建設機械製造業界の「新低炭素社会実行計画（2030年目標）」を策定
		5月	建機工設立25周年
		6月	イノベーション委員会を設置
平成29	2017	3月	「協力企業との適正取引の推進に向けた行動計画」を策定
		4月	機種別部会を改め分野別部会を設置
平成30	2018	9月	「輸出向け建設機械新車証明制度運用規程」を改訂
		11月	「移動式クレーン定期自主検査制度運用規程」を改訂
平成31	2019	3月	「統一安全標識における警告表示に関するデザイン」を改訂

■賛助会員名簿

株式会社アマダホールディングス
株式会社アンテックス
株式会社イー・オータマ
いすゞ自動車株式会社
いすゞ・やまとエンジン株式会社
伊藤忠商事株式会社
ヴィルドゲン・ジャパン株式会社
宇部興産機械株式会社
NTN株式会社
NTTファイナンス株式会社
エヌディーリース・システム株式会社
株式会社オカムラ
オリックス株式会社
カーゴテック・ジャパン株式会社
川崎重工業株式会社
株式会社栗本鐵工所
KYB株式会社
サンドビック株式会社
JA三井リース株式会社
シマブンエンジニアリング株式会社
昭和リース株式会社
神鋼リース株式会社
新東工業株式会社
住友ゴム工業株式会社
住友商事株式会社
株式会社ティラド
東京計器株式会社
東京ラヂエーター製造株式会社
東日興産株式会社
東洋製鉄株式会社
トピー工業株式会社
中川特殊鋼株式会社
ナブテスコ株式会社
ニッセイ・リース株式会社
播州電装株式会社
日立キャピタル株式会社
福山ゴム工業株式会社
株式会社不二越
株式会社ブリヂストン
プレス工業株式会社
有限会社ベトンテック
ポクレンハイドロリックス株式会社
ボッシュ・レックスロス株式会社
丸紅株式会社
みずほリース株式会社
三井住友ファイナンス&リース株式会社
三菱商事株式会社
三菱ふそうトラック・バス株式会社
UDトラックス株式会社
株式会社リーデン
株式会社リョーサン

■会員研修会実績

1990（平成　2）年度	平成　2年12月	株式会社神戸製鋼所（加古川製鉄所他）
1991（平成　3）年度	平成　3年10月	住友建機株式会社（名古屋工場他）
1992（平成　4）年度	平成　4年11月	株式会社タダノ（志度工場他）
1993（平成　5）年度	平成　5年10月	トップセミナー（滋賀県）
1994（平成　6）年度	平成　6年10月	株式会社アイチコーポレーション（テクノプラザ他）
1995（平成　7）年度	平成　7年10月	新キャタピラー三菱株式会社（MHI小牧南工場他）
1996（平成　8）年度	平成　8年10月	石川島建機株式会社（IHI呉第一工場他）
1997（平成　9）年度	平成　9年10月	コマツ（テクノセンター・総合研修所他）
1998（平成10）年度	平成10年10月	株式会社クボタ（筑波工場他）
1999（平成11）年度	平成11年10月	トヨタ自動車株式会社（元町工場他）
2000（平成12）年度	平成12年10月	富士通株式会社（沼津工場他）
2001（平成13）年度	平成13年10月	株式会社デンソー（安城製作所他）
2002（平成14）年度	平成14年10月	株式会社日立製作所（海岸工場）
2003（平成15）年度	平成15年10月	日産自動車株式会社（追浜工場）
2004（平成16）年度	平成16年10月	北九州エコタウンセンター
2005（平成17）年度	平成17年10月	独立行政法人防災化学研究所、株式会社神戸製鋼所神戸発電所
2006（平成18）年度	平成18年10月	株式会社ブリヂストン（下関工場）
2007（平成19）年度	平成19年10月	独立行政法人土木研究所、国交省防災・技術センター
2008（平成20）年度	平成20年10月	株式会社新日本製鐵（広畑工場）
2009（平成21）年度	平成21年10月	コマツ（茨城工場）、日立建機株式会社（臨港工場）
2010（平成22）年度	平成22年10月	株式会社クボタ（堺製作所、堺臨海工場）
2011（平成23）年度	平成23年10月	住友重機械工業株式会社（横須賀製造所）
2012（平成24）年度	平成24年10月	株式会社安川電機（本社工場）
2013（平成25）年度	平成25年10月	コベルコ建機株式会社（五日市工場）
2014（平成26）年度	平成26年10月	日立住友重機械建機クレーン株式会社（名古屋工場） 住友重機械工業株式会社（名古屋製造所）
2015（平成27）年度	平成27年10月	東北震災被災地（仙台市、気仙沼市、陸前高田市）
2016（平成28）年度	平成28年11月	マツダ株式会社（本社工場）
2017（平成29）年度	平成29年11月	三菱航空機株式会社（最終組立工場）
2018（平成30）年度	平成30年11月	日立アプライアンス株式会社（多賀事業所）
2019（令和元）年度	令和 元年11月	株式会社ジェイテクト（刈谷工場）

創立30周年記念
フォトコンテスト

広報部会では、建機工の創立30周年を記念するとともにも、若者への建機業界のアピールを兼ねたフォトコンテストを開催しました。募集はWEB上で行い、全国の大学・高専へポスターも配布しました。

2019（令和元）年7月8日～9月末で964件もの投稿があり、10月から広報部会で審査。「最優秀」1名、「部門賞」3名、「優秀賞」5名、「アイデア賞」5名の計14作品の入賞が決定しました。

テーマ		内　容	応募総計
1	いつもどこかに建設機械	日常の中に溶け込んで働いている建設機械の自然な姿。	588
2	こんなところに建設機械	予想外なところに存在していた建設機械の不思議な姿。	328
3	古い建設機械みつけた!	びっくりするほど古いのに動いている建設機械の姿。	48
			964

審査基準

- **最優秀賞（1名）**
  すべての作品の中で、最も高い評価を得たもの
- **部門賞（3名）**
  各部門の中で高い評価を得たもの（最優秀賞が発生した部門は、その次点となるもの）
- **優秀賞（5名）**
  全ての作品の中で、評価を得たもの
- **アイデア賞（適宜）**
  上記とは別に、その写真の独特さ、斬新さ等により、評価に値すると思われたもの

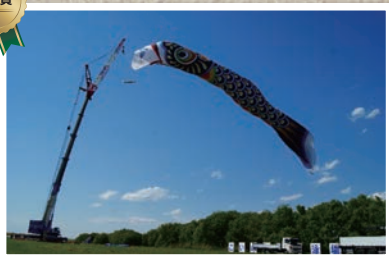
最優秀賞　テーマ1

未来のアスリート達!!

部門賞

テーマ1 憧れの働く車！

部門賞



テーマ2 世界一の鯉のぼり上げるぞ

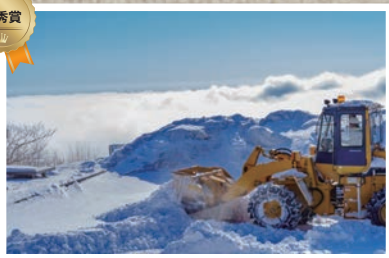
部門賞

テーマ3 雪に埋もれたD475-1

優秀賞

テーマ1 富士の見える大地の大開発

優秀賞



テーマ1 雲の上の仕事場

優秀賞

テーマ1 今日は終わり

優秀賞

テーマ2 春の大山で

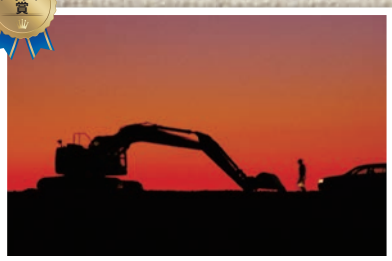
優秀賞

テーマ1 スカイツリーと似たもの同士

アイデア賞

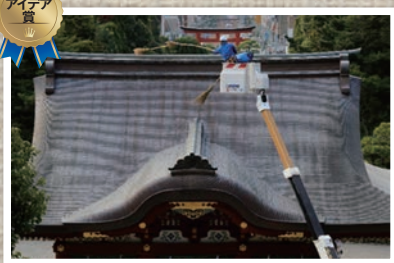
テーマ2 虹に架ける

アイデア賞



テーマ1 パトロール

アイデア賞



テーマ2 すす払い

アイデア賞

テーマ2 海水浴場オープン準備

アイデア賞

テーマ3 昭和40年生まれの54歳現役です。

創立30周年記念

来たれ、建機業界
建機のサービスマンの魅力にフォーカス

「建設機械業界に就職する！
建機整備士の仕事」篇 PART1

初めての建設機械業界

初めての建設機械業界

これが自分の仕事

仕事のやりがい

仕事のやりがい

休日もバッチリ取れる

未来へ一歩踏み出す

未来へ一歩踏み出す

流通サービス委員会では、建機のサービスマンの魅力にフォーカスした映像『「建設機械業界に就職する!　建機整備士の仕事」篇 PART1』と『「建設機械業界に就職する!　建機整備士の働く環境」篇　PART2』を制作し、2019（令和元）年12月にYouTubeに公開しました。

これは、高校生、高専生、その保護者、他業界からの転職者に向けて、建機業界の安定感・安心感・働きやすさ、建機の創造性・ダイナミズムとともにサービスマンの仕事の魅力にフォーカスしたものです。

「建設機械業界に就職する！ 建機整備士の働く環境」篇 PART2

建設機械業界に入ったきっかけ

これが自分の仕事

仕事の醍醐味

充実したサポート体制

休日もバッチリ取れる

建設機械業界は…

あなたの未来はここにある！

あなたの未来はここにある！

創立30周年記念
イラストコンテスト

イノベーション委員会では、建機工の創立30周年を記念するとともに、20年後に建設機械産業の中心となる世代へ建設機械業界のイメージアップを兼ねてイラストコンテストを開催しました。募集はWEB上で行い、全国の大学・高専へポスターも配布しました。

2019（令和元）年8月19日～10月31日で14件の応募があり、11月からイノベーション委員会で審査。「金賞」1名、「銀賞」1名、「アイデア賞」2名の、計4作品の入賞が決定しました。

内　容
20年後の建設機械及び建設機械産業やそこで働く人々を取り巻く様々な環境変化を一般の方々からの視点で自由に想像していただき、３つのテーマから応募いただいた。

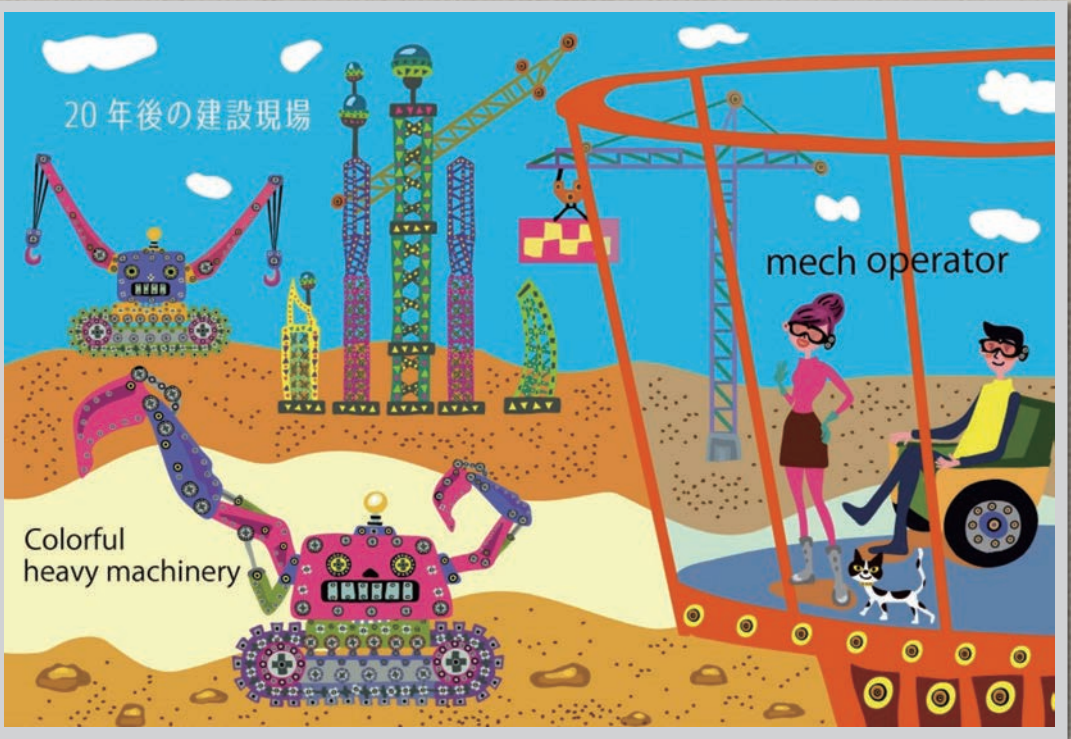
テーマ1	テーマ2	テーマ3
20年後の建設機械	20年後の建設現場	20年後の働き方

審査基準

- **金賞（1名）**
  すべての作品の中で、最も高い評価を得たもの
- **銀賞（1名）**
  各部門の中で高い評価を得たもの（金賞が発生した部門は、その次点となるもの）
- **アイデア賞（適宜）**
  上記とは別に、そのイラストの独特さ、斬新さ等により、評価に値すると思われたもの

金賞　テーマ2

コントローラーで誰もが安全に遠隔操作できるカラフル重機



銀賞

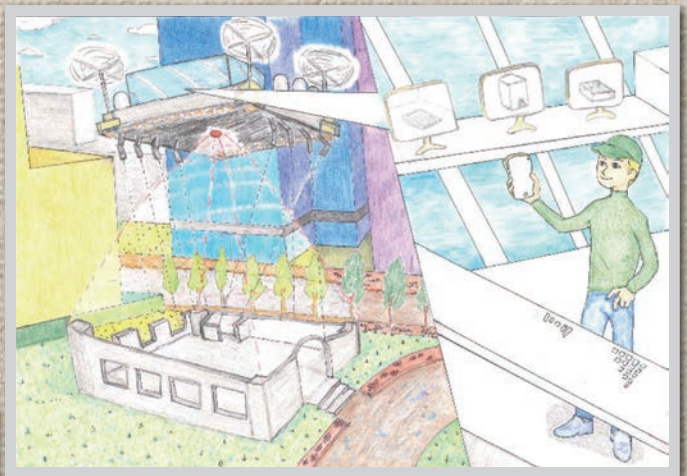
テーマ 2

神秘に輝く水中都市

アイデア賞

テーマ 1

ドローン型3Dビル建造機械



アイデア賞

テーマ 1

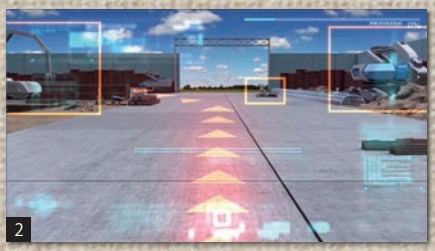
かわいいおかしダンプカー

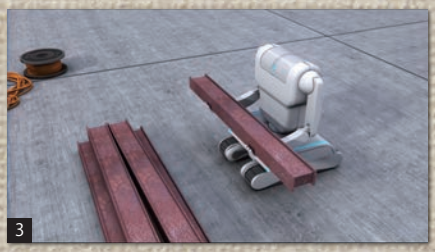
創立30周年記念

「建設機械産業の将来ビジョン2040」20年後の建設機械産業動画を公開

イノベーション委員会では、建設機械産業の将来ビジョンとして、20年後の世界を3D動画で作成しました。電動化、無人運転、遠隔操作など安全・環境にやさしい建設機械は、活躍のフィールドを宇宙へ広げ、明るい未来を作り続けます。

1 2040年の建設現場

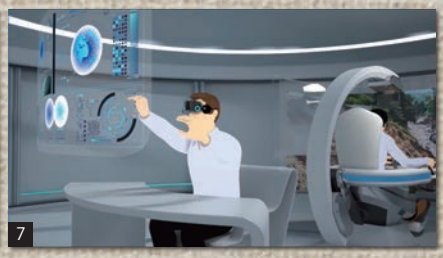

2 3 ロボットが資材置き場までのルートを計算して資材を降ろす。


3

4 5 未来の建設現場はオフィスからコントロール。
AIを駆使して、遠方にいてもあたかもその場にいるかのように、多言語で会議することもできる。

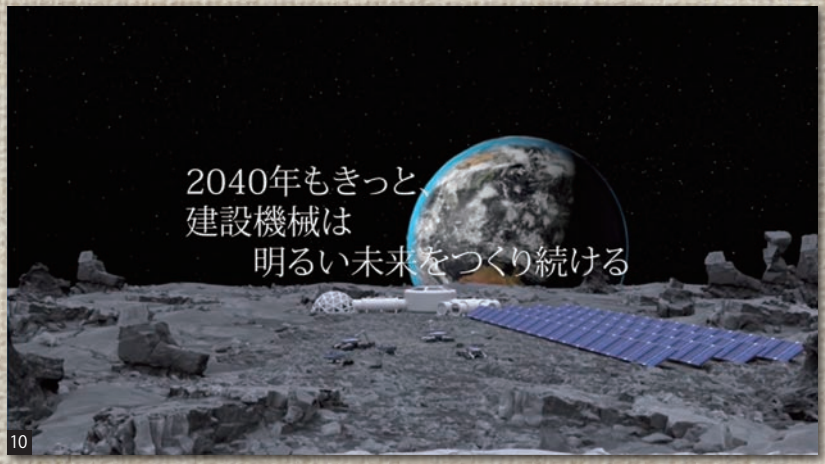
5

6 7 オフィスから複数の現場をコントロール。その後ろではVRゴーグルをつけて建機を遠隔操作するオペレーター。


7

8

9 8 9 手の動きとロボットが石をつかむ動作がシンクロ。



10 そして、活躍のフィールドは地球を飛び出し宇宙へ。

編集後記

風薫る五月、「建機工」は毎年その齢をひとつ重ね、今年30周年を迎える。「薫風」は、夏の季語だが、実際の五月は春の終わりから梅雨に入る前の日本で最も清々しい時季である。実りの秋に向けて、過酷な夏を控え、希望を胸に準備にいそしむというのが、日本人の季節感であり、月末に定期総会を営む「建機工」もその例外ではない。ただ、今年は、新型コロナウイルスが様相を一変させている。

工業会事務局もご多聞にもれず、「在宅7割」や「接触8割減」を実践しながら、通常の「工業会統計」、「証明書発行」、「会員問い合わせ対応」などといった業務を行うとともに、本誌の最終校正やリモート・アクセスの導入といった新たな業務をこなしている。部会以下のレベルでは一部でいわゆる「TV会議」の試行も行われている。今後、恒常的にTV会議を利用するのであれば、会議のレベル、テーマの選定やセキュリティ上の課題の検討も含め、導入にはルールの整備が必要となろう。

さて、本誌は、2010（平成22）年5月に発行した「20年誌」のその後10年に焦点を当てて編纂されたものである。この10年は、「リーマン・ショック後」、「東日本大震災をはじめとする自然災害」、「地球温暖化」、「IoTの進展」といったキーワードに象徴される。これらの事象に対し、「建機工」では、各会長が述べられている通り、「グローバル化への支援」、「災害復興への社会貢献」、「環境問題への対応」及び「新技術への取組」といういわゆる「四本柱」の事業を展開してきている。一方、永年の工業会運営において、どうしても「なれ」の部分が生じてしまうのも摂理であるところ、「コンプライアンスの徹底」や「活動、組織の棚卸し」にも注力してきた10年間である。

このような「社会的な要請」や「環境変化」に対応し、「長い目で見れば、建設機械産業は右肩上がりの産業」であることを実践してきた「建機工」の歴史を本誌を通じ再度認識していただき、「リーマン・ショック」から始まった先の10年と同様に「コロナ禍」から始まった次の10年も「右肩上がりの産業」として進んでゆく一助となれば、広報部会をはじめ編集関係者一同にとってこれにすぐる幸いはない。

日本建設機械工業会30年のあゆみ
CEMA1990-2020

発　行　2020（令和2）年6月

発行者　一般社団法人 日本建設機械工業会
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館2階
TEL.03-5405-2288
URL.http://www.cema.or.jp/

CEMA
一般社団法人 日本建設機械工業会

CEMA 30
Since1990-2020

CEMA

一般社団法人 日本建設機械工業会